

Unit23 Vowels in unstressed syllables in content words

●23-A

- ・ある内容語（意味内容がはっきりしている語）の強く読まれる音節の母音は普通、強調されようがされまいが、同じように発音されます。
- ・一音節の内容語の母音は、一音節の機能後（実質的な意味内容に乏しい語）の母音に変化するのに対し、発音は変化しません。

●23-B

- ・しかし、内容語の強く読まれない音節の母音は非常にたくさんあります。ゆっくりと、または注意深く話す母音はそれ独自の発音がありますが、普通に話す場合、これらの母音は /ə/ へと弱められます。
- ※自分自身が話す場合、これらの母音は弱める必要はありませんが、弱めたほうがより自然に、流暢に聞こえます。

●23-C

- ・単語の中には、母音で終わる強調されない音節は他の母音で始まる強調されない音節とつなげられ、その2つの音節は一つに合体するものもあります。これはゆっくり話したり、注意深く話したりする場合ではなく、普通に話す場合のみに起こります。

Unit24 Syllabic consonants

●24-A

- ・たいていの音節は母音を含んでいます。しかし、時々、子音しか含んでいない音節があります。辞書ではこれらを普通、**l** や **ə** をその子音の下において表します。このような子音は音節子音、または成節子音と呼ばれます。
- ※音節子音は普通、より自然で流暢ですが、これを母音 /ə/ と一緒に通常の音節や子音と同じ様に発音することが可能です。

●24-B

- ※ *didn't haven't shouldn't wouldn't ...* のように *not* がくっついた型は 'nt' という音節を持っています。

●24-C

- ・単語の中には2つの音節が一緒のものもありますが、これには何通りかの発音の仕方があります。

●24-D

- ・音節子音が動詞の終りに *ing* と一緒にくっつけられた場合、その子音 + *ing* は普通、一音節で発音されます。この場合、音節子音は最後の音節の一番前の子音です。
- ※音節子音と母音 /ə/ を混ぜて発音することもできます。